

## 第16回 かたの環境を考える委員会

\*日時：平成23年5月16日（月） 18:30～21:30

\*場所：交野市役所 別館3階中会議室

\*テーマ：問題点から課題へ

18:32 交野市環境保全課長より開会の挨拶。本日から9月30日までクールビズとのこと。

18:33 環境民事務局長 堀孝弘より挨拶。

この会の流れについて3つの連絡

- ① 対策へと先走ってしまいがちであるが、段階を踏んでやってほしい。
- ② 本日は20:50から各チームがどこまで進んだかを報告してもらい、共有したい。
- ③ 中間発表会の日程について

18:48

各グループ内での話し合い。

21:10

各グループのファシリテーター（環境市民）が、チームの進行状況について報告。



★各グループの話し合いを以下にまとめた。

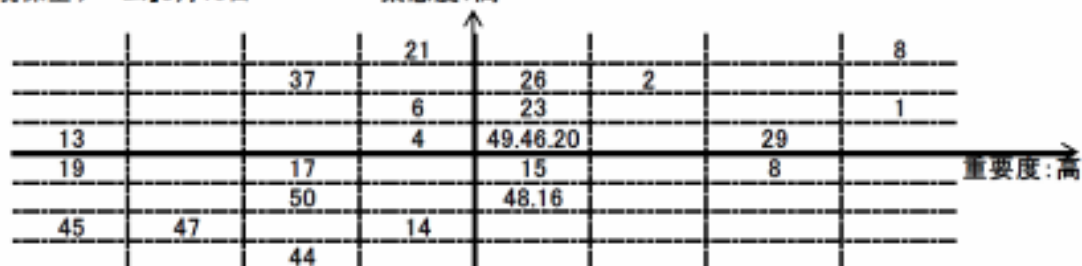
### 【自然環境グループ】

前回まで出ていた問題は、46項目あった。これらの重要度・緊急度を考えるにあたって、その前に内容が似ている問題をくくった（問題は括っただけであり、消さない方針である）。括った上で、重要度・緊急度を表に表した。

また、問題は随時加えるようにしており、今回、問題自体は50になっている。

【自然環境保全チーム】5月16日

緊急度:高



1	山が荒れている
7	里山が荒れている
11	里山の手入れが行き届いていない

2	森林の整備がされていない
3	管理をしっかりとっていない

4	間伐されていない
5	人工林が放置されている

6	保水力が弱まっている
---	------------

8	里山の竹林が増えている
9	竹林が自然に増え続けている
10	里山の竹林が放置
12	竹林が増加している

13	川が荒れていた
----	---------

14	天の川の水質の問題
----	-----------

15	上流の川が汚い(ごみがある・鉄を飲んで黄色い状態)
18	川の周辺に廃棄物が散乱している

16	小魚が少ない、鳥が見られない
----	----------------

17	川の水量が減っている
----	------------

19	川に下りて行くことが難しい
----	---------------

20	上流中流下流のみなさんの気持ち が一体となっていない
----	-------------------------------

21	行政の方向性が不明瞭
22	開発規制がわかりにくい
43	自然が開発されている

23	山の権利関係が把握されていない
24	地主との関係がうまくいかない
25	個人の土地には入れない
30	手入れをする人が少ない

26	山林の保全はボランティアに依存している
27	ボランティアだけでは難しい
28	ボランティアだけでは追いつけない

29	今行われている活動が持続的に出来る仕組み
31	現在のボランティア活動(3団体)が市民に行き届いていない
32	各団体ばらばらでやっている
33	認知度ボランティアに参加のPRが
34	興味を持ってもらえていない
35	市民、地主が環境を大事にしている
36	市民の自然環境に対する意識が低い
39	ボランティアに参加できる

37	市民が何の活動もしていない
38	日常生活から市民にやれることがない
40	市民がやる気になる活動がない

41	市民農園が農協になり、価格アップで何もしてくれない。
----	----------------------------

42	水質ではなく豊かであるかどうかの調査が必要(川が豊かでない)
----	--------------------------------

44	歩ける歩道がない(私市の上流、天の川に沿った歩道)
----	---------------------------

45	大きな木が少ない
----	----------

46	農地の後継者が少ない
----	------------

47	楽しめる川がない
----	----------

48	天の川遊歩道に犬のフンを放置する人がいる
----	----------------------

49	川に落ちないゴミがいっぱいある
----	-----------------

50	水のなくなった小川の水が湧き始めている
----	---------------------

【まちづくりグループ】

改めてこの委員会や、プロジェクトが実際に動くまでの流れを確認し合った。

そして、第14回と第15回で洗い出してきた問題点58項目を改めて見直し、問題点を深く掘り下げ議論を深めた。

大きくは社会環境と自然環境に分けることができる、農業は産業と考えるなど、問題の見方の意見がまとまってきた。

その上で、以下の通り15項目の問題点にまとめ直し、改めて重要度・緊急度順を見直した。

自然グループの活動に値するものは、項目から外すことになった。

15項目の問題に、これ以上の追加項目はないということになり、

次回は改めて、重要度・緊急度を見直し、問題から課題へ変えていくことになった。



【まちづくりグループ】

▼ 第14回委員会が出た意見 (問題点だけでなく、課題などすべて)	分類1	分野	分類2	分野	分類3	分野	他Gへ
1 中心になってくれる人が拡がらない(いろんな経験・知識を持っているはずなのに)	A	コミュニティ					
2 地元の行事にも出てこない	A	コミュニティ					
3 自治会に入らない人も出てきている	A	コミュニティ					
4 (人間運) ひとづくり、きずな、つながり、コミュニケーション	A	コミュニティ					
5 子供が遊ぶ場所、球技できる場所が少ない	A	コミュニティ					
6 今ある財産(経験・体験・知恵)の活用ができていない	A	コミュニティ					
7 手段として、おまつり、イベント、ボランティア(かかわれる仕組み、交わる楽しさ。場づくり、仕組みづくり)	A	コミュニティ					
8 新たな住民を受け入れる体制・形にはなっていない。	A	コミュニティ					
9 資源(宝の山、自然)が活かせていない	B	自然					自然Gへ
10 山一木、竹の利用・活用	B	自然					自然Gへ
11 自然が豊か	B	自然					自然Gへ
12 交野サイズになっていない	B	資源	I	人文資源			
13 交野の宝、集めてまち。	B	資源	I	人文資源			
14 金がない、産業がない一創っていく。交野にあったらいい産業って何?	C	産業					
15 交野の財産・宝だった古いまちなみ・田園風景がなくなりかけている。	F	田園	I	人文資源			
16 田園風景のあるまちなみづくり	F	田園					
17 農の利用といっても、農家との信頼関係が必要(ぶどう園、田んぼ、休耕田)、雑種地が多い	G	農業					
18 農業が衰退している	H	農業					
19 農産物売りましょう・・・市場をつくる	H	農業	I	人文資源			
20 観光資源が活かせていない	I	人文資源					
21 まちのシンボルが明確でない	I	人文資源					
22 中心はどこ? 中心市街地はどこ?	I	人文資源					
23 古いまちなみ、まち歩きが楽しい(建物には持ち主がいる)	I	人文資源					
24 歴史文化を地元の人が知らない	I	人文資源					
25 地域の催し、名所、まつり	I	人文資源					
26 どう活性化するか=交野の文化、ロマンチックな七夕	I	人文資源					
27 山一風景、里地里山、ハイカーとの共存や交流(ハイキングコースをどう活用するか)	I	人文資源					
28 便利にどうするか?	J	交通					
29 バス路線(利用しやすいものに)	J	交通					
30 バス(ゆうゆうバス)	J	交通					
31 自転車がこわい	J	交通					
32 自転車で走れる道	K	自転車					
33 自動車をどうする?	K	自転車					
34 マナーの再確認	L	マナー					
35 道路をきれいに(ポイ捨てごみが多い)	L	マナー					
36 暮らし易い交野=安全(緊急時の準備ができていない、土砂災害など、実生活に即した防犯対策ができていない)	N	防災					
37 暮らし易い交野=安心(車上荒らし増加、変質者が多い)	O	防犯					

▼ 第15回の会議でさらに追加された問題点	分類1	分野	分類2	分野	分類3	分野	他Gへ
<b>【コミュニティの場づくり、人づくり、仕組みづくりが出来ていない】</b>							
38 リーダーが不足している。	A	コミュニティ					
39 年配の方が過ごせる公園がない	A	コミュニティ					
40 青年団的な地域活動が少なく、関わり合いがない	A	コミュニティ					
<b>【地域における人間関係が希薄になってきている】</b>							
41 子どもが外で遊んでいない地域が多い	A	コミュニティ					
42 子どもだけで外で遊べない	A	コミュニティ					
43 子どもを叱る大人が少ない	A	コミュニティ					
44 子どもを見ていこうという地域づくり	A	コミュニティ					
45 コミュニティが欠如している	A	コミュニティ					
46 楽しみづくりがない	A	コミュニティ					
47 子どもの顔が見えない	A	コミュニティ					
<b>【景観、公園、マナー】</b>							
49 住宅地の用水路の汚れ	A	コミュニティ	L	マナー			
51 各住宅地の公園が少ない	A	コミュニティ					
53 公園のメンテナンスが不十分	A	コミュニティ					
48 景観づくりが、環境と結びついていない	F	田園	I	人文資源			
52 小さい公園が活かされていない	I	人文資源					
50 ゴミのポイ捨てがある。マナーがない	L	マナー					
<b>【自然、農業】</b>							
54 自然の緑が減少している。	B	自然					自然Gへ
55 緑が少ない（街路樹、田園）	B	自然	I	人文資源	F	田園	
56 里山が荒廃している	E	里山					自然Gへ
57 農地の減少	F	田園	H	農業			
58 田んぼが減っている	H	農業					

▼ 第16回委員会で、上記の全ての問題点を以下の問題点（A～E）にまとめ直し、改めて重要度・緊急度順を見直した。
<b>■ 重要度1（高い）</b>
A コミュニティの場づくり、人づくり、仕組みづくりが出来ていない
N 防犯
O 防災
I 人文資源（文化、人間、名所等）が活かされていない
C 金がない、産業がない
<b>■ 重要度2</b>
D 地域における人間関係が希薄になってきている
L マナーが出来ていない
F 田園風景がなくなりかけている
G 農地が活用されていない
H 農業が衰退している（産業としての農業）
<b>■ 重要度3</b>
J 公共交通の利便性が低い（特にバス路線）
K 自転車でも安全に走れる道が非常に少ない
<b>■ 重要度4</b>
M 地元に対して、経験や知恵を活用してくれる人が少ない
<b>■ 自然グループへ</b>
B 自然の資源を活かしていない
E 里山の荒廃が進んできている

## 【エネルギーグループ】

### ○議論の経過

5月2日の第15回会議において、前年度の学習会などで全委員から出ていたエネルギーに関する意見から、交野で感じるエネルギーの問題を22件ひろい上げた。

これ以外に、エネルギーグループメンバーが考えた「問題」を13件追加し、計35件の問題を洗い出した。その35の問題の重要性を勘案し、19件の問題に絞り込んだ。

5月16日の第16回では、エネルギーグループのマンパワーから議論を始めた。

市民委員がグループに1名のみで、洗い出した問題を「自分たちの課題」に置き換えて、プロジェクトも考えたとして、実際にそれを推進・遂行できるのだろうか。行政や事業者は最前線に立ってプロジェクトを推進するのは難しい面がある。

もし、他のグループと合同するとしたら、エコ生活グループになるだろう。でも、現在の19の問題のまま、他のグループに合同しても、合同後ここまで議論してきた成果の扱いが難しいのではないかと。

現在のエネルギーグループのメンバーだけで、実際の推進を視野に入れたプロジェクトの立案が出来そうかどうか、もう少し問題を絞り込んでから考えよう。ということになった。

結果、第16回(5/16)では下記の7件を「重要な問題」として絞り込んだ。

- 1, 自動車に頼った生活が当たり前になった。  
(自転車で走りにくい 低公害車が普及していない)
- 2, 自然エネルギーが普及していない
- 3, 地球温暖化問題についてよく知られていない  
エネルギーの枯渇について関心がない
- 4, ESCO 事業のメリットが知られていない  
企業の省エネの取り組みが知られていない
- 5, 電気を使う自動販売機が増えた
- 6, 24時間営業の店が増えた
- 7, たくさんのエネルギーを使った食べものを食べている



かたの環境を考える委員会 第15回(2011年5月2日) 議論の整理1

第15回(2011年5月2日) 議論の整理2

第16回(2011年5月16日)

	洗い出した「問題」	整理
エネルギーに関して、これまでの学習会で出ていた問題のまとめ	地域の水資源が発電等に活かされていない。	1
	家庭から排出されているCO2の実態がわからない	2
	雨水の利用が進んでいない	3
	地域の資源がエネルギーとして活かされず、遠方からの輸送(送電も含む)に頼っている	4
	地域で食料を作る出せず、輸入食品に頼ることが多くなった。旬以外の食品が多く出るようになった。	5
	必要なものが何か判断せずに買うことが多くなった	6
	ものが大切にされていない	7
	自動車が増えた。自動車に頼った生活が当たり前になっている	8
	コンビニエンスストアが多くなった(?)	9
	太陽光発電、太陽熱利用が普及していない	10
	家庭で使われるエネルギーの現状がよくわからない。	11
	電気を多く使う自動販売機が増えた	12
	24時間営業の店が増えた	13
	LEDが普及していない。LEDの効果が理解されていない	14
地域のバイオ資源が十分活用されていない	15	
自転車利用が広がっていない。自転車で走りにくい	16	
買い替えによる節電やランニングコスト削減効果に関する情報が少ない	17	
効率的なエネルギー利用のあり方が、よく知られていない。	18	
節電の効果やメリットが、一般消費者によく知られていない。	19	
省エネを当たり前に行うための自覚が浸透していない	20	
住宅のエネルギー効率が低い(日本の住宅全般)	21	
企業の省エネを支援するコンサルタントが不足している。ESCO事業などのメリットが、よく知られていない。	22	
今回、出された「問題」	蓄電の仕組みができていない	23
	風力発電が普及していない	24
	地熱発電がない	25
	エネルギーの取扱いが難しい	26
	木質資源が十分活用されていない	27
	生ごみが資源として活かされていない	28
	バスの利用が少ない。乗客なしで走っていることもある	29
	食べものの旬がわからなくなった	30
	たくさんのエネルギーを使った食べものを食べている	31
	低公害車が普及していない	32
	廃食油が活用されていない	33
企業の省エネの取り組みが知られていない	34	
環境問題に関心のない人が多い	35	

分野・分類	重要度	「重要」と位置づけられた「問題」
創エネ	重要	「重要」と位置づけられた「問題」
啓発・情報	重要	19の問題に絞り込んだ。
省エネ	重要	3 雨水の利用が進んでいない
浪費の実態	×	14 LEDが普及していない。LEDの効果が理解されていない。
浪費の実態	×	16 自転車利用が広がっていない。自転車で走りにくい
浪費の実態	→ 他分野	21 住宅のエネルギー効率が低い(日本の住宅全般)
啓発・情報	→ 他分野	32 低公害車が普及していない
浪費の実態	重要	
創エネ		創エネ
創エネ	重要	1 地域の水資源が発電等に活かされていない。
啓発・情報	×	10 太陽光発電、太陽熱利用が普及していない(燃料電池、)
浪費の実態	重要	15 地域のバイオ資源が十分活用されていない
浪費の実態	重要	24 風力発電が普及していない
省エネ	重要	
創エネ	重要	啓発・情報
省エネ	重要	2 家庭から排出されているCO2の実態がわからない
啓発・情報	×	19 節電の効果やメリットが、一般消費者によく知られていない
啓発・情報	×	20 省エネを当たり前に行うための自覚が浸透していない
啓発・情報	重要	22 企業の省エネを支援するコンサルタントが不足している
啓発・情報	重要	34 企業の省エネの取り組みが知られていない
省エネ	重要	35 環境問題に関心のない人が多い
啓発・情報	重要	
省エネ	×	浪費の実態
創エネ	重要	8 自動車が増えた。自動車に頼った生活が当たり前になった
創エネ	×	12 電気を多く使う自動販売機が増えた
啓発・情報	×	13 24時間営業の店が増えた
創エネ	×	31 たくさんのエネルギーを使った食べものを食べている
浪費の実態	→ 他分野	
浪費の実態	重要	
省エネ	重要	
啓発・情報	→ 他分野	
啓発・情報	重要	
啓発・情報	重要	

さらに絞り込んだ問題  
7つの問題に絞り込んだ。

- 1 自動車に頼った生活が当たり前になった。  
低公害車が普及していない
- 2 自然エネルギーが普及していない
- 3 地球温暖化問題についてよく知られていない  
エネルギーの枯渇について関心がない
- 4 ESCO事業のメリットが知られていない  
企業の省エネの取り組みが知られていない
- 5 電気を使う自動販売機が増えた
- 6 24時間営業の店が増えた
- 7 たくさんのエネルギーを使った食べものを食べている

## 【エコ生活グループ】

今回は、（交野の）暮らしの中の環境問題の洗い出しを行い、重要度、緊急性の位置づけを行った。その結果、「生ごみの堆肥化」と「環境教育」が重要かつ緊急性の高いものとなった。環境教育は、さまざまな問題の根本を変えていくために重要、という認識だった。生ごみの堆肥化についてはかねてからメンバーが実現したい問題としてあげられた。

そこで今回は、少し視点を広げて、この2点以外にも交野で取り組んでいくべき生活の中の環境問題がないかどうかを検討した。

その結果53の問題があげられ、特に以下のようなものが主なものとして分類した。

- ・ライフスタイル問題（夜型生活、孤食生活がエネルギーの消費の増大、食や暮らしへの無関心を有無）
- ・物の売り方問題（必要な量だけ買えない/新しいものの方が修理するより安い等）
- ・家電の使い方問題（エアコンをつけすぎ）
- ・家庭における食問題（食のエネルギー使用量が多い/旬を知らない/農薬問題 等）
- ・ごみ問題（リデュースリユースしやすい仕組みがない/水切りが甘い/リサイクルが美德になっている等）

今回は、改めて前回出された問題と照らし合わせながら、問題のしぼりこみをできればと考えている。